



世界のことを考え、地元とつながる E S D 活動をおこなっています

学校法人高倉学園 豊橋中央高等学校

住所：〒440-0856 愛知県豊橋市鍵田町106

電話番号：0532-54-1301

担当者：山本 晋資

主要業務：高等学校

ホームページ：<https://toyohashi-chuo.ed.jp/>

目指すゴール



豊橋中央高等学校は、大正13年創立以来、相互和親の精神「和」を基調に、純良・健全・有為の教育目標を掲げ、時代の進展に対応した教育に取り組みます。

平成26年には東三河の高校としては初めてとなるユネスコスクールに加盟し、持続可能な開発のための教育（ESD）推進拠点としての役割を担っています。

本校のESD活動は、校内外の“つながり”を大切にしており、「世界のことを考え、地元とつながる」をテーマにSDGsに向き合った活動とボランティアをはじめ、委員会や部活動で取り組み、様々な形の「学びの場」としてしています。

令和5年度からは、普通科キャリアデザインコースでSDGsに向けた取り組みを題材に探究活動に取り組む授業「未来探究」を開講します。



SDGsの取り組み紹介

1. 海岸清掃「リアカーボランティア」「リアカーパトロール」(SDGs 11・12・14・15・17)

私たちができる最も身近なボランティアとして、「清掃活動」に注目し、リアカーを引きながら三河湾を1周するなど、平成16年から路上のごみを拾ってきました。令和元年からは海洋ごみや海岸の漂着ごみ、マイクロプラスチック問題に注目し、伊良湖岬・西ノ浜海岸の清掃に取り組んでいます。また月1回、学校周辺の清掃に取り組みながら、「ごみを拾うことでごみのポイ捨てをしない心を養う」530運動の活動にも取り組んでいます。

2. “届けよう、服のチカラ”プロジェクト (SDGs 1・3・4・10・12)

ユニクロ・GUが展開している活動に参加し、地元の幼稚園・こども園と協力し、着なくなった子ども服を集め、UNHCRを通じて、世界の難民の子ども達に贈っています。

3. 地域河川の生態系（ビオトープ）保全活動 (SDGs 11・14・15)

メダカの生息数を指標に学校近くを流れる柳生川の環境保全活動に取り組んでいます。生物調査、外来生物駆除、川の清掃活動、メダカの生態研究を通して生物多様性や住み良いまちづくりについて学び、川の環境保全活動に取り組んでいます。

4. 「エコキャップ回収運動」「書き損じ葉書回収運動」(SDGs 1・3・4・10・12)

「世界寺子屋運動・書き損じ葉書回収運動」
校外の団体・企業と協力して、ペットボトルキャップ回収の収益から世界の子どもへのワクチン寄付や、リサイクルの取り組みをしています。また、書き損じ葉書による寄付から東南アジアの子どもの教育環境改善に向けて支援をしています。